

広報1月1日号にて、高浜小学校区における公共施設のあり方について、めざす姿や取組みの方向性などについて紹介しました。

このたび、高浜小学校の建替えや他施設の機能の複合化についての基本的な考え方が「高浜小学校等整備事業基本計画」としてまとまりましたので、その概要を紹介します。

学校を地域コミュニティの拠点に！ 高浜小学校等整備事業 基本計画の概要

問合せ先 園学校経営グループ ☎52-1111(内線350)
園行政グループ ☎52-1111(内線351)

■整備事業 実施の背景

(1)校舎などの老朽化

- ・南校舎は築57年、北校舎は築49年が経過（躯体・外壁の欠落などが発生）
- ・体育館は築46年が経過

(2)施設更新の大きな波に備え、機能を複合化・集約化

- ・市内には耐震対策が未実施の施設や老朽化が進んでいる施設などが多くある。
- ・人口構造の変化などを見据え、学校の建替えにあわせて集会施設などの機能を移転するなど、施設を複合化・集約化することにより、施設総量をコンパクトにしながら運営の中身を充実させていくことが大切

施設全体の抜本的な
対応が必要!

【整備にあたっての基本的な考え方】

学校を、子どもから高齢者まで、小学校区の住民が集う「地域コミュニティの拠点」と位置づけ、将来を担う子どもたちの学び舎として、地域ぐるみで子育て・子育てを支えていくための環境の充実をめざす。

■検討の主なあゆみ

H23	<ul style="list-style-type: none"> ・「高浜市公共施設マネジメント白書」の作成 ・「高浜市教育基本構想」の策定 <p>→地域ぐるみで子どもを育むための学校施設のあり方や、教育施設複合化の検討などが位置づけられる</p>
H24	市民・有識者を交えた「高浜市公共施設あり方検討委員会」において、公共施設の今後の方針についての提言が提出される
H25	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育環境整備検討委員会」（教職員などで構成）を設置（H26～「学校施設検討部会」） <p>→学校施設に関わる基本性能や機能の複合化・集約化などについて、具体的な検討を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい地域活動拠点の形成を目指して」とした基本方針を公表 <p>→市庁舎・高浜小学校の整備に関する基本的な考え方を示す</p>
H26	<ul style="list-style-type: none"> ・「高浜市公共施設あり方計画（案）」の作成 ・議会に「公共施設あり方検討特別委員会」を設置 ・小学校区単位で「高浜市公共施設あり方計画(案)説明会」を開催 <p>「高浜小学校等整備事業 市民ワークショップ」の開催(計5回) →保護者、教職員、複合化対象施設利用者などが、学校の建替えや機能の複合化・集約化のあり方などについて意見を出しあう。</p>
H27	<p>学識経験者で構成する「高浜市公共施設マネジメント推進委員会」において、高浜小学校整備や他施設の機能移転のあり方などについて協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校区単位などで「高浜市の公共施設のあり方を考える市民説明会」を開催 <p>・「高浜小学校等整備事業説明会」を開催</p>

ワークショップや説明会における 市民の主な声

【学校に対する意見】

- ・タカハマっ子という気風あふれる学校に
- ・高浜の伝統が受け継がれている学校に

【セキュリティに関する意見】

- ・安全・安心で、学業とスポーツがのびのびできる学校に
- ・コミュニケーションとセキュリティをどうしていくかが課題



【複合施設に関する意見】

- ・子育てと教育がいっしょにできる場所、地域の方の顔がみえる学校に
- ・学校と一般利用者が共有して施設を利用する場合の利用条件の整理が必要

【防災に関する意見】

- ・体育館は防災拠点として、シャワーや資材などの設備をそろえた施設としてはどうか

